



【表紙について】福岡、北九州、長崎、山口宇部、広島、高松の各空港と敦賀駅に掲出したしました電飾看板広告に使用した写真を使用しております。

# 株主通信

第100期 中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日



西華産業の  
WEBサイトはこちらから  
<https://seika.com>



西華産業株式会社  
SEIKA CORPORATION





## ごあいさつ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社の第100期(中間報告書)株主通信をお届けするにあたり、  
ご挨拶申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、  
ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役 社長執行役員 櫻井 昭彦

### Q 創立75周年までの歩みを振り返り、想いをお聞かせください。

A 昭和22年7月、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)の命により旧三菱商事が解散となり、同門司支店機械営業課の有志により設立されたのが我社西華産業であります。これまでの75年において、三菱重工業販売代理店契約解消や岩澤グループによる株買い占めなど会社の浮沈にかかわるような危機や出来事がありました。数々の塗炭の苦しみを克服しつつ今日の西華産業に育て上げたのは、創業メンバーが持っていた「艱難辛苦に耐えて闘い抜く決意さえあれば活路は開かれる」という強い

信念と並々ならぬ努力、またその精神を継承し実践した諸先輩のお陰であり、満腔の敬意と謝意を表したいと思います。近年主力事業であるエネルギーおよび産業インフラ分野において大きく事業環境が変化しており、今や当社歴史を画す分水嶺に在ると考えます。私達は次の百年にも残る企業の原型を再び造り上げていくため、創業の精神や社是・社訓を剣とし、あるいは盾として精励格勤をもって社業発展を図ると共に、会社のより一層の品格向上にも目を向け企業価値向上に努めてまいります。

### Q 上期の営業状況を振り返り、総括をお聞かせください。

A 上期連結業績は、序盤は前年同期を上回るペースであったものの、一部大型取引の第2四半期末をまたぐ納期のずれ込みもあって、取扱高は688億円、売上高は404億円の前年同期と同水準でありました。また、営業利益は子会社を含め

業取引が堅調に推移し前年同期比10.7%増の14.44億円、経常利益は一部の持分法適用投資における損失計上があり同7.4%減の12.17億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は政策保有株式の縮減に伴う売却益もあり同20.9%増の8.44億円となりました。

### Q <sup>ヴィオーフ</sup>長期経営ビジョン「VIORB 2030」にもとづく取り組みや展開、通期業績の見通しをお聞かせください。

A 気候変動への対策としてのカーボンニュートラルの取り組みなど環境を巡る動きは、西華産業グループの主たる事業領域であるエネルギー関連や産業設備の分野においても大きなうねりとして現れ始めています。この環境を巡る変化のなかこそ、私たちが能動的に貢献できる、または貢献すべきことがあるはずと考え、2030年に向けた長期経営ビジョンを設定しました。エネルギーや産業インフラ分野に強みを持つ商社を核とした企業グループとして、脱炭素・省エネ省資源・サーキュラーエコノミー・DXに事業活動の重点を置き展開し始めました。またそれらの事業活動を確実に実行するため、経営面

の施策として、キャッシュマネジメントの仕組みによる資金余力の最大化、100億円規模の事業投資予算の決定、SDGsに資すると判断される事業や活動を応援するための10億円ファンドの設定などがあります。現在エネルギー事業分野では脱炭素に関係する新たな商権の獲得交渉が進展するなど、一步一步進めております。2030年にはグリーンイノベーション関連商材取扱高を1,200億円まで引き上げ、連結純利益40億円に導いていきます。通期業績見通しは、連結売上高950億円、営業利益37億円、親会社株主に帰属する当期純利益25億円を予想しております。

### Q 株主・投資家の皆様にお伝えしたいメッセージをお願いします。

A 漸く新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きが見られ人々の活動も活発化しつつあり、株主の皆様におかれましては明るい機運に在るのではないかと推察いたします。日頃より当社にご関心をお寄せ頂き有難く厚くお礼申し上げます。さて、当社は4月から東証プライム上場企業となりました。これまで以上に、株主様との建設的な対話を進めるために情報提供をはじめとしたIR活動に注力してまいります。

当社グループが抱える課題とその解決に向けた動きを株主様にご理解頂けるよう、情報発信してまいります。なお、当社は株主様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとし、連結配当性向35%を目途に安定的な配当をすることを基本方針としております。当期の年間配当は既に決算短信等にてご報告の通り70円を予定しております。引き続き西華産業グループにご理解ご支援くださいますようお願い申し上げます。

## 株式会社レナテックの事業に「VIORB2030」SDGs応援ファンドからの出資を実施



SDGs応援ファンドの第1号案件として、株式会社レナテックの「メタロ・パランスがんリスクスクリーニング検査」事業へ出資いたしました。



同検査は安価で信頼性の高いがんリスク診断ツールとして、早期がんの発見に資する取り組みであり、SDGsにおける「目標3：すべての人に健康と福祉を」のテーマである、「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」に該当すると判断し、出資を行いました。

### 社会貢献活動

## 高機能マスク60万枚を寄付



DR.C医薬株式会社製ハイドロ銀チタン®不織布マスク約60万枚を岡山県、山口県、長崎県、北九州市、東京都共同募金会、ふーどばんくOSAKA、フードバンクTAMA、FUKUSHIMAいのちの水などへ寄付をいたしました。同製品は感染症・アレルギー疾患治療薬開発を専門とするDR.C医薬が不衛生タンパク質、花粉内のタンパク質を水や二酸化炭素・窒素等に分解するハイドロ銀チタン®クリーン技術を応用した機能性マスクとなります。

[https://seika.com/csr/contribution\\_society/](https://seika.com/csr/contribution_society/)



## 株式会社ユーグリードへの出資並びに業務提携を開始



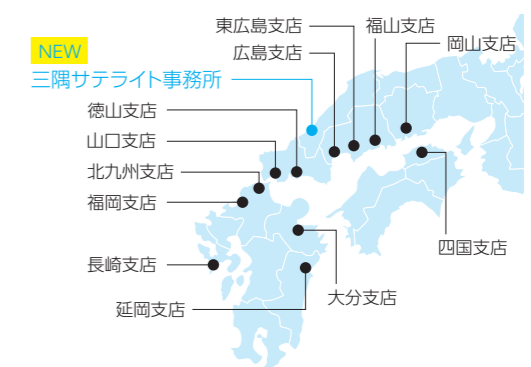
ユーグレナ由来のナノ繊維「パラミロン・ナノファイバー(以下、PNF)」を製造する株式会社ユーグリードに対し出資を行うと共に、PNFの販売に係る業務提携を開始しました。

PNFは自動車、家電、住宅・建材等向けプラスチック強化複合材として期待が集まっています。業務提携を通じ、当社の化学・合繊分野の販売ネットワークを活用して、PNF並びに関連装置・設備を提供することで、バイオマス分野でのバリューチェーンを形成し、環境に配慮したサステナブル製品の普及を推進いたします。

## 三隅サテライト事務所開設

2022年10月に広島支店傘下の拠点として、島根県浜田市に「三隅サテライト事務所」を開設いたしました。中国電力株式会社をはじめとした島根県沿岸部のお客様へは、広島支店を拠点とした営業活動を行ってまいりましたが、同サテライト事務所の開設によって、より機動的な営業活動が可能となりました。

今後も、機動性並びにサービス性向上を図ってまいります。



# 長期経営ビジョン「**VIORB2030**」

当社グループは、「地球環境と調和した持続可能なエネルギー創出・産業活動を支援する」というパーパス(存在意義)を実践し、豊かな社会の実現に貢献するため、2030年に向けた長期経営ビジョン「VIORB2030」を策定いたしました。



## 事業面での重点分野

### 1 脱炭素

脱炭素のユーザーニーズと技術革新を機敏に捉えビジネス化

**省エネ・業務効率化**

EX) ● 製造設備更新  
● 老朽化設備の更新  
● ユーティリティ設備、高効率化設備導入...etc

**ゼロエミッション**

EX) ● 排熱回収・燃料削減  
● 廃棄物利用、減容、燃料化、リサイクル  
● 環境配慮型設備、自然冷媒利用...etc

**再エネ・燃焼転換**

EX) ● 再エネ  
● 木質バイオマス発電  
● 化石燃料削減、再エネ有効利用...etc

**ネット・ゼロ**

EX) ● 森林保護(植林)  
● CO<sub>2</sub>クレジット  
● カーボンプライシング...etc

### 2 省エネ・省資源

省エネ・省資源に関する産業界の恒久ニーズへの支援を拡大

重点分野	提供価値	製品例
省エネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製造設備の長寿命化</li> <li>● 設備管理の自動化</li> <li>● スマート保安の実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般土木工事などに使用される土砂向け盛土材料品質確認装置</li> <li>● 製造設備および老朽化設備の更新</li> <li>● ドローンを使用したタンク等の肉厚検査</li> </ul>
省資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用燃料の削減</li> <li>● 再エネ有効利用(貯蔵)</li> <li>● 廃棄物利用、減容、燃料化、リサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木質チップや廃棄物を燃料としたバイオマス発電</li> <li>● ユーティリティ設備、高効率化設備の提供</li> </ul>

### 3 サーキュラーエコノミー(循環型環境)

サーキュラーエコノミーの進展・実現の動きへの対応を強化

**リアエコノミー**

**サーキュラーエコノミー**

**製品例**

- リサイクル事業に係るユーティリティ機器および付帯設備
- メンテナンスサービスの提供による設備の長寿命化
- 廃材を用いたバイオマス発電
- 自然冷媒(CO<sub>2</sub>)を使用した冷凍機

### 4 DX

DXを広義に捉え商機を探求

- インフラ業界では、老朽化や人手不足などの構造的な課題に対しDXによって解決を図っております。
- 当社はTerra Drone(株)とのドローン点検サービスに関する国内総代理店契約を通じて、プラントや製造設備のスマート保安を実現し、事業の進化と企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。



超音波検査装置搭載のドローンによる点検サービス



## 経営面での主要施策

- ① **キャッシュマネジメント** の仕組みの整備による資金余力の最大化
- ② **100億円規模の事業投資** による既存事業の深化と事業領域の拡張
- ③ **SDGs** に資する事業や活動を応援するための **10億円のファンド** 設定
- ④ **組織スリム化と生産性向上** による重点分野への人的リソース投入
- ⑤ **グループ各社** 毎の特性を踏まえた強みを明確にし **経営資源を集中**

## 2030年までの目標



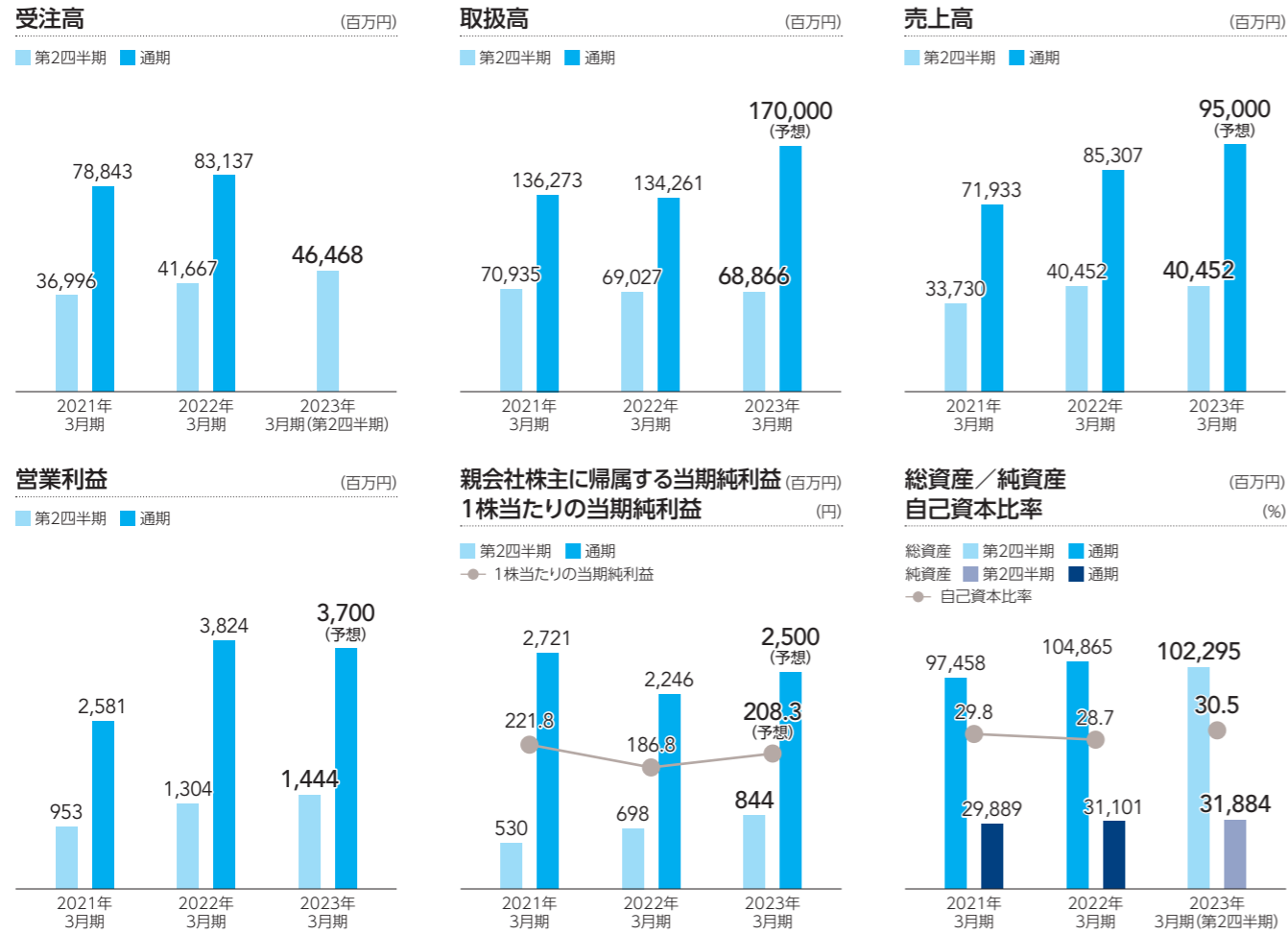
2030年度  
グリーンイノベーション関連 取扱高\*  
**1,200億円**



2030年度  
連結純利益 到達目標  
**40億円**

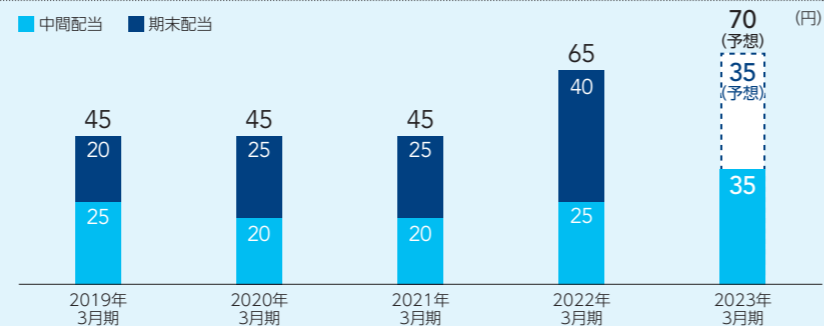
\*環境に好影響を与えるまたは配慮した機能や性能を持つ設備・機器・製品等の販売高

連結財務ハイライト



配当金推移

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとしており、安定的な配当をすることを基本方針としております。営業・財務両面にわたる効率的な業務運営により、経営基盤の強化を図ると共に、新しい事業の開発などの資金需要に柔軟に対応しながら、連結配当性向35%を目標にいたします。



主なデータ ※2022年3月期時点



電力事業

電力会社や共同火力向けに、ボイラー、ガスタービンなどの発電設備、環境保全設備の販売およびアフターサービスを提供しております。また、原子力発電所向けにセキュリティ設備や消火設備などを販売しております。



2023年3月期 第2四半期の概況



北陸地区の発電所における設備の刷新や中国地区の原子力発電所向け保安設備増強等が寄与したものの、低採算の資源関連取引があったことで、増収減益。

産業機械事業

新素材、繊維、フィルムやプラントエンジニアリングなど幅広い産業分野の顧客に対して、設備や機器を販売する他、メンテナンスも提供しております。また、電子機器用プリント基板の他、環境保全用計測機器なども幅広く取り扱っております。



超軽量太陽光パネル

2023年3月期 第2四半期の概況



官公庁向け製本設備や健康食品メーカー向け製造設備等の大型案件の受け渡しが進み、日本ダイヤバルブ株式会社の業績も堅調に推移。また、前年同期に発生した中国案件での一時的損失の反動や円安進行もあって、増収増益。

化学・エネルギー事業

石油精製、化学、製紙、製鉄等の事業会社向けに発電設備や製品を製造する設備の販売およびアフターサービスを提供しております。



2023年3月期 第2四半期の概況



大手運輸会社向け水力発電設備等の大型案件を含め受け渡しが予定通り進み、前年並みの売上を確保。また、セイカダイヤエンジン株式会社の業績が拡大し利益に寄与した。

グローバル事業

本事業は海外12か国、26拠点で事業展開中であり、西華産業グループとしての総合力を発揮し、国内外における産業界の発展に貢献しております。欧州：工事用水中ポンプの販売・レンタル事業、産業用ロボットの販売など。北米：日系自動車業界向け基板実装関連設備の販売など。アジア：化学・繊維その他一般産業向け機械設備、原材料の販売など。



Tsurumi (Europe) GmbH 取扱製品：水中ポンプ

2023年3月期 第2四半期の概況



工事用水中ポンプを扱うTsurumi (Europe) GmbHグループの業績が堅調に推移したものの、主に中国や東南アジア地域における新型コロナウイルスの影響による営業活動の制限や商談の遅延等の影響で、減収減益。

取扱高構成

2023年3月期 第2四半期 取扱高 68,866百万円



当社の概況

(2022年9月30日現在)

**設立年月日** 1947年(昭和22年)10月1日

**資本金** 67億28百万円

**事業所** (国内)本社：東京都千代田区丸の内三丁目3番1号  
 大阪支社：大阪市北区堂島浜一丁目4番4号  
 支店等：室蘭、名古屋、敦賀、岡山、福山、東広島、広島、徳山、  
 山口、四国、福岡、北九州、長崎、大分、延岡、札幌、千葉  
 (海外)支店：台北、ソウル  
 駐在員事務所：ベトナム

**従業員数** 993名(連結) 311名(単体)

**主な子会社** (国内)日本ダイヤバルブ株式会社/株式会社竹本  
 西華デジタルイメージ株式会社/敷島機器株式会社  
 セイカダイヤエンジン株式会社  
 (海外)Seika Sangyo GmbH(ドイツ)/Tsurumi(Europe)GmbH(ドイツ)  
 Tsurumi France S.A.S.(フランス)/HYDREUTES, S.A.U.(スペイン)  
 Marine Motors & Pumps N.V.(ベルギー)  
 Tsurumi UK Limited(英国)/Obart Pumps Limited(英国)  
 SEIKA MACHINERY, INC.(米国)  
 西暁貿易(上海)有限公司(中国)/天津泰雅閥門有限公司(中国)  
 Seika Sangyo(Thailand)Co., Ltd.(タイ)  
 SEIKA SANGYO(VIETNAM)COMPANY LIMITED(ベトナム)

役員

(2022年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員 櫻井 昭彦  
 取締役 専務執行役員 川名 康正  
 取締役 常務執行役員 増田 博久  
 取締役 上席執行役員 長谷川 智昭  
 取締役(社外) 宮田 清巳  
 取締役(社外) 各務 眞規  
 取締役 監査等委員(常勤) 阿部 正典  
 取締役 監査等委員(社外) 白井 裕子  
 取締役 監査等委員(社外) 中村 嘉彦  
 上席執行役員 高橋 紀行  
 執行役員 碓井 一俊  
 執行役員 尾崎 雅一  
 執行役員 木下 雄貴  
 執行役員 野尻 竜彦  
 執行役員 湯面 彰  
 執行役員 本多 裕二

株式の状況

Stock Information

株式の概況

(2022年9月30日現在)

**株式数および株主数**

発行可能株式総数 37,705,800株

発行済株式の総数 12,320,650株

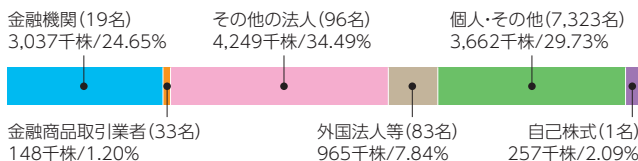
株主数 7,555名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,182	9.81
光通信株式会社	891	7.39
三菱重工業株式会社	826	6.85
株式会社三菱UFJ銀行	400	3.32
株式会社山口銀行	352	2.93
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	325	2.70
日機装株式会社	305	2.54
株式会社UH Partners 2	297	2.46
三菱電機株式会社	286	2.37
株式会社鶴見製作所	267	2.21

(注)①千株未満は切り捨てて表示しております。  
 ②当社は、自己株式 257,155株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株の割合は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



(注) 千株未満は切り捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話：0120-232-711 (通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081  
 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL <https://seika.com>  
 (ただし、電子公告によることができない  
 事故、その他のやむを得ない事由が生じた  
 ときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
- 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様からお取引の証券会社等へマイナンバーをお届しいただく必要がございます。

